

【九和】鍋地

114 開中塚大権現 (開さん)



鍋地からお釈迦さんへの登り口よりも少し奥。左手斜面を上ると竹やぶの中にこんもりとした塚があり、その上には10基ほどの五輪塔がある。室町時代から江戸時代初期にかけてのものか。長宗我部元親が攻めてきた際に戦死した武将をお祀りしたと伝えられている。あるいは、秀吉の四国攻めの際のものとも考えられる。お堂は、昭和初期に建てられたもので新しい。五輪塔のある塚の上にかかるとお腹が痛くなるといわれている。この辺りの竹やぶは非常に美しい。

115 宝林寺



府中第59番霊場、曹洞宗杉尾山宝林寺。本尊は薬師如来。本堂は昭和54年に建てられたもの。釈迦堂を中心として栄えた七宝寺の一つで、曹洞宗のお寺になったのは約400年前。七宝寺のうちの四寺は鎌倉時代初期に焼失したものとされ、現在この宝林寺と桂の宝蔵寺、法界寺の宝積寺の三寺が残っている。

4月8日花まつりの日、釈迦堂の釈迦如来像がご開帳される日には地元の方たちによってお接待がある。

116 四良神社



鍋地からお釈迦堂への上り口にある。大宝元年(701)に大三島の大山祇神社から勧請された。その後寛永6年(1629)殖産に偉功のあつた河野四郎為世の霊を迎えて合祀し、四良神社という社名となった。明治時代に一村一神社と定められた際に多くの神社が合祀されている。社殿の裏にはヤブツバキの大木が多くあり、春先に花を咲かせる。

117 螢の里



鍋地ホタルの里づくりは、住民の有志と九和小学校児童によって総合学習の一環として取り組まれた。鍋地川の草刈り等、ホタルの生息しやすい環境づくりをすると共に、ホタルの餌となるカワニナの増殖やゲンジボタルの幼虫の放流を行った。

その甲斐があつてホタルの住み付く川となつて、6月初旬には多くホタルを見ることが出来る。